

学会発表渡航支援報告書

(ふりがな) 氏 名	なかた ひでき 中田 英樹	所属・職名 グローバル COE 研究員
e-mail	hidekinakata@socio.kyoto-u.ac.jp	
発 表 題 名 (英 語)	Analysis of the situation of foreign workers in Japan since the economic crisis in USA; Case study of Brazilian migrations of Japanese origin in Shiga prefecture (<i>Análisis sobre la Situación de Obreros Extranjeros en Japón después de la Crisis Económica en Estados Unidos: Estudio del caso de los inmigrantes brasileños de origen japonés en la prefectura de Shiga</i>)	
著 者 名	中田 英樹	
会 議 名 (英 語)	2 nd international conference of globalization and migration (<i>2o coloquio internacional sobre globalización y migración</i>)	
開催地 (国、市)	San Cristóbal de las Casas, Chiapas, México	
参 加 期 間	2010 年 10 月 11 日 ~10 月 12 日	
<p>メキシコ南部チアパス州はコロニアルでとても綺麗な街、サン・クリストバル・デ・ラス・カサスにて開催された「グローバリゼーションと移民に関する国際集会第二回大会」に参加してきました。国際大会とはいえ、参加者のほとんどがラテンアメリカを対象にしたスペイン語研究者であり、言ってみればラテンアメリカ「地元」の色が強く、かなり緊張しました。</p> <p>私の発表は、日本へとデカセギにやってきた日系ブラジル人を対象にしていましたので、少し全体から見れば異色でしたが、会場にいたラテンアメリカの人たちには、「豊か」で有名な日本へとデカセギに行ったラテンアメリカの「隣人」が、どのように困難な日常をとりわけ 2008 年の経済危機以降強いられているかということに強い関心を示して頂き、多くの質問やコメントを頂きました。</p> <p>会全体の印象としましては、やはりメキシコにおけるグローバリゼーションと移民に焦点が置かれていたと思います。すなわち、メキシコという国は、より貧しい諸国の集まりである中米（グアテマラやエル・サルヴァドル、ニカラグアなど）と、より「豊か」な北米との中間に位置します。多くのメキシコ人が北米への移民を夢見て、時には不法で国境を越え、捕まり、人権侵害を被る一方で、南からはたくさんの中米の人たちが不法も含めてやってきます。このような状況にあって、北米を向いたときのメキシコは、より移民に寛大な態度を北米には求めたい一方、それは同時に「南」に対して自らが体現しなければならない、引き裂かれた状況にあるわけです。</p> <p>安易な移民受け入れを訴えるのでもなければ、排斥に終始するのでもない、そうした現場のリアルな状況が数多く発表され、とても参考になりました。</p>		

学会発表渡航支援報告書

